



いやしの島から望む瀬戸内一の多島美

じょうのやま

城山 222m

- 距離：約1km（登山口～山頂）
- 歩行時間：約40分（片道）



※すべての地図は、国土地理院の電子地形図を加工して作成したものです。

栗島は、城山・阿島山・紫谷山の3つの大きな島と、中央部の小高いところ、東側の尾元という小さい島の合計5つの島が、潮の流れによる砂州で一続きとなってきた島で、城山は栗島の最高峰である。

360度のパノラマビューで瀬戸内海を一望。山頂から見る西浜の長く美しい砂浜（トンボ口：陸繋砂州）は、青く澄んだ海の止まり木のように。山登り経験がなくても気軽に登山を楽しむことができる。

* 登山道：

- ・木の階段が多く、きれいに整備されて歩きやすい。
- ・最初は急な階段が続き、5合目あたりで突然視界が開け、栗島港や渦東、渦西の集落が見える。7合目を過ぎると、今度はなだらかな道が続き、9合目からの最後の上り坂を登りきると山頂へ！

* 注意点／アドバイス：

- ・旧栗島小学校横の登山口で杖を入手。ここで杖を手に入れないと、里山といえども結構手ごわい。
- ・子どもでも楽に登れる。夏場は蚊が多い。
- ・頂上には自動販売機はないので、登る前に飲み物を準備。
- ・トイレは栗島開発総合センター、栗島港待合所に設置。

* 登山口までのアクセス：

- ・栗島港から登山口まで徒歩10分。
- ・本土側の須田港から栗島港まで栗島汽船で15分。

* 周辺情報：

- ・永禄元年（1558年）ごろ、雨霧城主・香川元景の出城「栗島城」があった。天正年中（1573～92年）敵兵に焼かれて焼失。

■島のプロフィール

1897(明治30)年に日本初の海員学校を設立、1987(昭和62)年まで多くの船乗りを輩出。近年、「芸術家村」プログラムで交流が盛んに。

<周辺位置図>



◆ 「しま山 100 選」とは

(公財) 日本離島センターでは、海に囲まれた島の山々の個性や魅力にスポットをあて、全国の島々を対象に、「しま山 100 選」を選定しました。「しま山」を通じて、訪れる人にも、島の人にも、島の魅力を再発見してもらい、交流の促進につなげていくことがねらいです。

そもそも島とは、海の底から立ち上がった山であり、その姿は高山のような雄大さがありますが、海拔にすれば 1,000 メートル以上のしま山は少なく、体力をあまり気にせずに頂を極める満足感が得られ、一年を通じて楽しめる山が多いことが魅力です。草花や生きもの、地形や地質、全方位のパノラマや多島美、史跡など、しま山ならではの特別な宝物にも出会えるかもしれません。

海を渡ると、そこは島時間。日常からちょっと離れて、島旅・山旅にでかけてみましょう。山から島を眺めれば、島の形や人々のくらしの場、島を囲む美しい海や砂浜、遠くの島々まで見渡すことができ、その島をもっと身近に、もっと好きになれるはずです。



「しま山」登山は、情報集めから

本シートは、各山の魅力をまとめることで、まずは「しま山」や島に興味を持ってもらうことを目的として作成したものです。「しま山」に行くことが決まったら、より詳細な情報を集め、登山計画を立てましょう。

島旅は、季節や天候によって行程などに影響の出やすいものです。事前に、インターネットやガイドブックなどで最新情報を確認するとともに、観光案内所や宿の方などに相談してみるのも、おすすめです。